

※解散・総選挙となりそうなので前倒して発送します

2026年 2月 1日

退職教職員協議会双葉支部会員のみなさま

福島県退職教職員協議会

双葉支部 事務局

退教協双葉支部「退教協ニュースNo.422号」 の送付にあたって

震災から15年となった新年を迎え、1カ月が過ぎようとしています。この1月はさまざまなことがありました。頻発する地震、西日本・北日本の大雪などの自然災害の他、電車のストップや罪のない方が犠牲になる事件や事故など、暗いニュースが続きました。

しかし、その中でも世界を驚かせたのは、アメリカによるベネズエラへの軍事攻撃と大統領の拘束でした。ベネズエラについては、独裁的な政治体制への非難が国内外にあり、野党として民主化運動をしてきたマチャド氏が昨年ノーベル平和賞を受賞しました。問題を抱える国ではありますが、他国による軍事攻撃が許されるものではありません。さらにトランプ大統領は、メキシコ、デンマーク自治領グリーンランドへの介入も示唆しており、「自国主義」をあからさまに進めています。「世界の警察」のアメリカはもはや過去のものとなり、今後の世界情勢に誰もが不安を抱いています。

そして、国内政治情勢としては、高市首相による「大儀なき」衆議院解散・総選挙の表明。新年度予算案審議が行われるはずのこの時期の解散を、これまでの政権は回避してきました。解散・総選挙によって「民意」を問うとは、自民党と維新の会の連立の是非を問うらしいのですが、高市内閣への支持率が高いうちに選挙をしようとするねらいは明らかです。これは、物価高などに苦しむ「民意」や突然の選挙に振り回される自治体の混乱などには関心がないかのような「暴挙」と言えます。「自民党圧勝」という予想も流れていますが、福島県教組の方針である「**脱原発・護憲・平和・人権を軸に民主主義を守る立場**」の議員を拡大するために、投票行動をし、「自民党圧勝」を絶対に阻止しましょう。

原発のない福島を！県民大集会 3月21日(土)パルセいいざか

震災後継続して開催されてきた集会です。県内の各団体の代表者によって実行委員会を組織し、その時々的情勢に応じて運営してきました。今回は、原発事故から15年となり原発事故の風化が懸念されることから、いまだにその影響を受け続ける「避難者」を中心とした「リレートーク」を企画しています。私たちは、地元に戻る、戻らないにかかわらず、この15年は「異常」な状態で過ごしてきたことには変わりありません。今回のリレートークへの参加者は私たちの思いを語ってくれると思います。



参加を希望する方は事務局までご連絡ください。双葉支部では「2名」までが「県」退教協から旅費が支出されます。

【お願い】 段階的な定年延長の実施により、2年に1回「定年退職」がない年度があり、今回がそれにあたります。それでも退職者は300～400人程度見込まれます。そうした方々に本会への入会をお勧めしたいと思いますので、何か情報がございましたらお知らせください。

原稿をお待ち
しています



近況報告、または昔の思い出、さらには現職時代の写真など、提供をよろしくお願いします。短歌や俳句なども大歓迎です。メモ的なものでもどうぞ。

○ 住所等の変更及び会報の原稿は、下記の連絡先までお願いいたします。

○ 連絡先 (事務局長) 柴口正武 宅

〒976-0036 相馬市馬場野字寺内175-5

※ 電話は 090-2604-8941

※ ファックスは 024-522-7751

(弘済会福島支部／柴口勤務先)

※ 電子メールは shibaguchi0211@gmail.com



2026年 2月 1日

第422号

退教協 ニュース

電話による定期便

つくば市（双葉町）江又トミ

K君から毎月1回は電話がくる。もう5年間も続いているのだ。改めて自身の反省から感心している。避難当初は激励の言葉、お見舞いやお電話をあまた頂き勇気づけられたことは言うまでもない。10余年を経た今は少なくなり、此（こ）ちらから皆さんを案じることもある。やがては自然消滅・・・当然の理と思っていた時に電話。

「先生、元気？Kだがわかる？中学校の時の」

これが第一声。幾世橋中卒で相模原に住んでいて、乳製品の集配業らしい家業か、忘れた頃に電話が。

「先生、声、昔と変わらないね。修学旅行の写真に先生のすぐ側（わき）に写っているのがボクだよ。頑張って働いているよ。ボンクラだったが、女の子3人育てたよ・・・。」

一方的に喋るので聞き役に徹している。彼については何ひとつ覚えがない。

顔も身長も部活も、幾中を去って70年にも近い私だ。実家はすでに解体しているし、アルバム等も一切ない。クラスメイトだという女子が、K君が毎月1回先生に電話することを決めて実行しているんだと言ってたが・・・と。そうか、これからも続くのか・・・。

最近、長女は住友商社マンと結婚してニューヨークに住んでいるとか、次女は広島で国際観光の仕事についているとか、孫（男）



が訪ねてきてくれて嬉しかったよ等、活き活きとしゃべり出す。俗にいう親バカの自慢かとも思ったりもするが、素直に喜んであげている。最初にあいまいな返事をしたばかりに彼との縁が延々と続いているのだ。時には電話を心待ちにしている感がある。

要するに電話は有難い。時間、遠近を越えて生の声で直通。人は人を恋しがるものだ。と日進月歩の文明の利に浴していることを幸せに思えた。(10月15日)



(事務局より)

江又さんがお使いになっているのが「固定電話」なのか「スマホ」のような携帯電話なのか悩みながら、結局両方を挿絵として作成しました。江又さんがおっしゃるように、通信機器の進歩は「日進月歩」ですね。次号は、支部長の杉本さんの原稿をお送りいたします。

※ 元日にテレビなどで放送される「初日の出」。同じ「日の出」なのに、1月2日は話題にもならないのはかわいそうだなあと毎年思っています。そんな私でもさすがに1月2日には行きません……。

初日の出…

by Monster 松

